

## 積算委員会活動報告

積算委員会

去る9月22日、29日の両日、積算（調査編）、（工事編）の全国会議が東京全地連会議室に於いて開催されました。

特に平成8年度の「海上調査編」の改訂方針については、積算資料の内容もより充実させて作業の流れが写真などでも判るように、カラーで掲載することも検討しております。又、サイズもB5版と大型化されることになり、従来以上に見易くなり積算上でも大いに参考になると思います。

又、「工事編」につきましては「平成9年度」に歩掛版の改訂を予定しており、各発注先からの問い合わせ、質問等をも念頭に新工法等を含め内容をより充実させるため、現在積算委員会に於いて準備を進めております。

その他、各地区協会参加の各委員から最近の発注価格動向、各種工事発注動向等の意見交換があり、特に発注価格動向については各地区共に、主に仮設費等での積算内容が仕様書に明確化されていないケースが見受けられるため、今後の活動で発注機関へのお願いをしていきたいとの意見が出ておりました。

又、解析等技術業務費の積算計上については建設省をはじめ各県（土木）で浸透してきている反面、主に市町村等ではまだまだ浸透に時間が掛かりそうな印象を受けておりましたので、今後のPRをお願いします。

全国的に発注価格については人件費のUPが低く、又逆に安くなったこと等も影響しほぼ横這い状態が続いているようです。中でも、1月の「阪神淡路大震災」の復旧工事に関連し関西支部管内業務の発注量が非常に活発多忙であったため、9月に入ってから通常業務が動き出しつつあるとの報告もあり、他支部の発注状況とは大きな差異があるようです。

その他、工事発注についての動向も地すべり工事等の通常業務は各地区共に順調に発注されており、今後の大型補正予算による追加発注にも期待が寄せられているようですが、アンカー工事等大孔径大型工事については全体に発注が遅れぎみで、10月以降の活発な発注に期待がもたれるところです。

追伸、平成7年度の東北地質調査業協会主催の積算説明会は、宮城県、福島県の両県で実施されます。現在の日程としては、平成8年2月8日（木）、9日（金）両日を予定しており今後積算委員会で準備を始める予定でおりますので、皆様にお知らせ申し上げます。